

九州経済圏・7月、中韓向け減少も自動車輸出好調

Edited By LogisticsToday On 2019/08/20

門司税関が19日に発表した7月の九州経済圏（九州全県、沖縄県、山口県）の貿易概況（速報値）によると、輸出入の差引額は1692億円（前年同月比29.6%増）の輸出超過となった。

輸出総額は7421億円（1.6%増）で4か月ぶりのプラス。中国・韓国向けの半導体など製造装置や映像機器の輸出が大幅に減少した一方、アジア・中国・米国向け自動車・船舶の輸出が増加した。

輸入総額は5729億円（7.1%減）で4か月連続のマイナス。主に原油や石油製品が減少した。

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>
URL to article : <http://www.logi-today.com/349239>
Copyright © 2019 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.